

23/12/16 名古屋城木造復元「市政出前トーク」約 30 人
名古屋市民オンブズマンによるメモ

荒川：説明 30 分くらい
質疑 30 分くらい

森：有形登録文化財を求める会

市政出前トーク

ごみ、学校 なんでも説明してもらえる

テーマ「名古屋城整備」

名古屋城総合事務所 荒川主幹 清水主査

緑色 会の資料

名古屋市 ピンク色+資料

意見、陳情の会ではない

出前トーク終了後、意見交換会を行う

質疑応答 トークに準じたもの

会の進行中、妨げるような行為はやめて

- ・お城と日本人記事
- ・遵法適合性比較表
- ・会員募集
- ・アンケート
- ・申し入れ書

タイムテーブル

14 時-14 時 30 分 説明

休憩なし

14 時 30 分-15 時 00 分 質問

休憩 10 分

15 時 10 分 意見交換会 2 部

16 時 30 分限界

17 時撤収

毎月学習会を行っている

13:57

荒川：現天守を保存し木造復元に反対する団体でお話しするのは緊張
名古屋生まれ名古屋育ち 気持ちはわかる
私は 50 過ぎている 役所に入った時 師匠の師匠が建てられたのが
現天守

立派 取り壊すのは残念

ただ私は行政マン やるからにはしっかりやりたい

1時間程度 資料説明 30-40分 残り質疑応答

・価値と意義① 1610築城開始 1612完成

1613清州越

・価値と意義② 陸軍省所管→宮内省→名古屋市に下賜 旧国宝に
1945/5/14 空襲で焼失

1959年外観復元再建

世論調査 木造44.7% 木造?建築基準法

文化財再現 建築基準法3条1項4号 当時なかった 木造復元できなかつた

う

国交省問い合わせ 詳細は分からない

通達行政 省庁がこうやればよい やれたかもしれない 文書残っていない

戦後復興のシンボルとして復元

・保存活用計画

名古屋城は「特別史跡」国宝級のもの

平成30年度に策定 保存、活用、整備

・「本丸の」整備

令和3年3月 曲輪

近世期最高水準

築城以来260年居城→明治 陸軍所管

軍関係の建物、二の丸御殿取り壊し

ドイツ駐日公使など「名古屋城の保護」働きかけ

明治政府から「廃城令」 名古屋城・姫路城は永久保存

明治12年 古社寺保存法 特別な存在

石垣、建造物残されている

・本丸現況図 石垣 上 赤枿が重要文化財

内堀の石垣の上に櫓 濃尾地震で崩壊・撤去

将来的には焼失櫓らも再現

石垣 地中に残っているのではないか

・鳥観図 二の丸から見た図

本丸戻したい いつになる?わからない

20-30年スパンではなく長期

課題、費用だけでなく建造物 地面の下の遺構の保存

・「天守」の整備

本質的価値の向上と理解の促進

魅力向上

本丸御殿 優美な形状、将軍の権威豪華さ 細かい細工金具
直感的に分かる

天守 豪華絢爛さが無い 36メートル 堀下から約56メートル
規模 落雷やけた大坂城 58メートル

江戸城 45メートル 石垣59メートル 再建されず

幕末まで残った最大

東大寺なみ 太い柱、梁

なぜ復元するのか？

伝統工法

・基本計画①

平成31年4月解体申請 令和4年12月完成目標

事業計画、進め方 市長の強い思いが先走りすぎた

保存、調査の意識が欠けていたのは事実だと思う

事業が長引いている

緻密な調査、発掘調査 事前の調査は必要だった

当初の計画 無茶があったのかなあ

文化庁「石垣等遺構の影響が足りない」「意義は」

令和3年5月、令和4年5月 回答

令和4年6月 文化庁「進捗した」全体計画

令和5年3月 『整備基本計画』をおおむね取りまとめ

・基本計画② 復元検討委員会で妥当性議論が必要

今年3月、6月おおむね取りまとめ

6月バリアフリー市民討論会 差別発言+市対応のまずさ

市の検証委員会の結果を踏まえたい

・基本計画③ 復元の方針

・詳細分析① 古写真、昭和実測図 野帳 文献

できるだけ正確に復元したい

写真79枚

藩主撮影、外国人写真も

メモ書きに寸法書かれている

広島城 平面、立面、断面

名古屋城 窓、格子 地階明かり取窓

・詳細分析②

北西側石垣が沈下 天守が傾く

宝暦2-5年 石垣積みなおしを含む大修理

石垣が今も残っている

現天守も宝暦の姿

・詳細分析④

当初 10 円玉の色→緑青色に

2-4 層 銅板に黒チャン塗料を塗っていた

土瓦→黒く塗った？

5 重の屋根のみ 10 円玉色

今愛知県庁 銅板ふきかえ 新聞では緑青に 30 年かかる？

空気中の汚れ 今の方がきれい？ 酸化するには時間がかかる

現天守 10-15 年で緑青

2 重 - 5 重 黒い塗料風化

宝暦大修理後 追体験できる

・詳細分析⑤

・詳細分析⑥ 畳敷き CG 1900 畳厚さ 7 センチ

畳が傷む 最上階の 2 室のみ畳の予定

巨大な柱、梁 狭間や石落とし見れるようにしたい

14:31

・遺構の保存に十分配慮した整備①

地下埋蔵遺物も保存が求められている

・遺構の保存に十分配慮した整備②

素屋根など仮設物

軽量盛り土（発泡スチロール）で堀を埋める

・遺構の保存に十分配慮した整備③

地下 1 階 穴蔵石垣 基礎構造の課題

現天守 門は復元されていない

当時の天守 入り口部分のみ ほかは板壁、漆喰

基礎構造 遺構が保存できるかわからない

→発掘調査

穴蔵石垣 もともとの天守が焼け落ちた際損傷

昭和 27-31 年 全面的に修復積みなおし

再建時にかなりの部分 崩されて再度積みなおされた

詳細な図面なく、表面上だけ？土の最下段まで？

・遺構の保存に十分配慮した整備④

背面発掘調査を行った 江戸期遺構発見

適切な構造ではない

適切な修復整備が必要

床下に入って調査

上半分に白っぽい石 再建時 奥側にずれている

黒っぽい石 創建時

土砂がサンドイッチ

石垣背面も調査 築石背面 20センチ栗石が詰まっていけない
→土砂で埋まっている

限られた範囲

現天守解体後に調査して対策したい

・防災上の安全確保とバリアフリー①

正確に復元できる？

市長はよく「本物」

私は焼失したものが本物

復元するものは模造品、レプリカ

目的を達成するためのもの

第三者機関の評定等を取得し、消防法、建築基準法と同様の安全性を確保

3-4 階段追加

4-5 1個だけ階段 避難ハッチ

避難安全性の確保

出火防止・初期消火

被害拡大防止

安全な避難経路の確保

建物を2つに割る 煙に汚染されない避難経路

地震計画 今後第三者取得したい

基礎構造が固まらないと取得できない

バリアフリー

6月不祥事

市の考え方説明

旧国宝復元 当時のまま復元してほしい

雰囲気壊してほしくない

足が悪い

体力的に最上階まで登れない

障害者排除しないで

どちらの意見もある意味正しい

市が聞いている有識者 投稿

「21世紀に軍事施設を復元しようとしているわけではない。

文化財を復元 体感する」

反対、賛成に対し、市「史実に沿って復元

より多くの人に観覧してもらいたい

柱と梁の間 2.1メートル

1.5-1.6メートル空間 垂直昇降機

普通のエレベーター 木造につけると課題がある 難しい

・バリアフリー③

目標とする構造性能

最大層間変形角 震度5強 1/60

震度6強 1/30

鉄筋コンクリート 1/100-1/200

普通のエレベーター 1/30 難しい

相当の空間を設けないとできない 普通のエレベーターは断念
公募で選んだ垂直昇降設備

床板など撤去 柱や梁撤去しないで済む

・バリアフリー④

定員4名または車いす1台+介助者1名

これが妥当か、何階までできるか整理する

・今後の手順

ハードル、手続きが必要

国の許可が必要

復元検討委員会で議論されて許可

まだしばらく手続きが必要

以上で説明終わり

14:48 質問タイム

15:10 くらいまで質疑をしたい

大規模な事業 分担も分かれている

回答ができない場合もある

質問

会場：本質的価値とはなにか

りっぱなお城

荒川：技術やこういった歴史背景

直感的に分かりやすい形で見えて感じていただく

より深く理解いただく

理解促進を図るツール

市長が「将来国宝に」言っている

100年たてばどんな建物でも国宝の

国宝にするために復元するためではない

こういったものだったのか体感していただくため

「復元すれば即文化財」ではない ツール

私は違うと思う

会場：歴史的価値

大坂城、江戸城、名古屋城 トップクラス

総構え 本丸ではない

荒川：おっしゃるとおり 縄張り

名古屋城全体の整備 広いから

曲輪としての本丸

会場：ここが北の総構え 市民に分かるような形で展示されてる？

明治なら遺構残っていた

規模のわりに総構え 身の丈以上

知らしめるための文化財保護

「南京虐殺がなかった」市長が「本丸御殿」わかっている

歴史

木造天守作ってもわかる人がいない

「軍事的要塞」

荒川：そうではない

本丸は燃えた

会場：行っていることとやっていることが違う

荒川：肩を持つわけではないが、政治家だからキャッチー

会場：がんばってもらいたい

荒川：調査研究センター 学芸員の組織

ちょっと前までなかった

おざなり？

数年前に組織ができた 日本に他にない

会場：500億円 金がない

会場：市長が言っているから、一般市民 江戸時代が建つと思っている

荒川：誤解をされていると思う

じくじたる思い

市長はそうでないことは分かっている

市長「防災設備はやる」

発信力があるから「本物、本物」

会場：そのまま作ると完全の違法建築

蹴上

荒川：木造5階建ては建築基準法にない

会場：生命財産

適用除外 4号 やむを得ない理由

荒川：やむをえないと認めた

会場：耐震、耐火を認める

荒川：特定行政庁（名古屋市）が認める

除外するからなにやってもいいわけではない

会場：市長はそう聞こえる

荒川：建築基準法 仕様を決める

安全性 防火性を決める法律

そのままやると、歴史的建造物 価値を損なう

文化財、復元は適用除外

なにやってもいいわけではない

社会的建物でもある

防災、耐震 世間で求められるものをやらないと

担保するために日本建築センターの評定 第三者機関で担保

建築審査会 諮問機関

評価評定 防災評定 有識者防災部会で中身をたたいて評価いただく

審査会で同意 特定行政庁が「やむを得ない」

会場：数年前 基本設計ができている

評価は取れている？

荒川：防災評定は取れている

会場：建築審査会かかっている

荒川：4号 再現する場合

文化庁の許可をとらないといけない 現状変更

復元が認められた後、建築審査会

森：違うよね

会場：あってる

会場：木造 努力しているのはわかる

やむを得ない 文化庁の許可がでない

会場：手続きは分かった

何年も前から手続き

荒川：まだ出していない

バリアフリー計画が煮詰まっていない

何階までつけるか決まっていない

私がいうことではないが、「市長はつけたくない」

会場：文化庁許可申請をとらないといけない

差別発言で飛んだ

この計画が無理があったのではないか

木造 実務担当者はやっている

進まないのは特例取るのが

市民の間で議論していないから

荒川：文化庁 計画の中

もともとあった天守はどういったものか

文献、資料で明らかにしなさい

復元するにあって階段、バリアフリー どれだけ付加するか

大幅に変わるものではないですよ

文化庁で把握しないと

「垂直昇降機 何階までつけるか」文化庁にださないといけない

まだ決まっていない

最終的には市長が判断

理論的にはつけられる

とりつける建屋大丈夫か

技術的には5階までつけられるか

そこまで言って

会場：木造復元ありきではじまった

木造で復元するのか 現天守 戻ってきているのでは

実務では大変

全部見直し

荒川：全部見直しではない

会場：名古屋城復元するのか

耐震強度がない

本丸天守を整備していくのか 原点に戻っている

荒川：耐震性がないから木造ではない

補強すればよい

名古屋城をどういったものだったか 理解するには

木造復元の方が有益だと理解

市長がそう言っていた

整理した 文化庁から「なんで木造」

会場：過去あった建物を体験するために

急ぐ必要はある？

南海トラフ

パレスチナ、ウクライナ 食うに困る人

贅沢なことに力を入れる余裕があるのか

生活根本

木造名古屋城 地震で傾く可能性

森：ご意見は後程

会場：市長 バリアフリー 技術的には5階まで行けるか

市長 1-2階では意味がないと言っている？

荒川：市長はあまりつけたくない
会場：市長と市の考え方がずれると混乱する
荒川：垂直昇降技術 フェリー 客室
船につける 基準が厳しくない
建築物 厳しい 機能としてつけたさないといけない
技術的なレベル検証は進める
何階までつけるか 市長の政治的判断
会場：石垣を含めて申請出していない
石垣間違えて崩した
荒川：地下に埋まっていた米蔵の礎石
会場：勘違いしていた ミスはミス
可能性があるのを注意しなかったから工事業者
市民にとってはなぜ起きたのか
森：意見として
会場：史実に忠実 価値はあると思うが、大事なこと
たくさんの方が木造天守に入る 見学する
13ページ 防災上の安全確保
同等の安全性 大丈夫か？
2方向避難 現天守は外付けエレベーター+大小天守閣
外付けエレベーターとる 本当に2方向避難
不燃性 逃げていくときの階段は木造
少人数ならまだわかる
たくさんの方が入る
収支計画 1年350万人が50年
1時間2500人
孫が東京にいるが、危なっかしくて連れていきたくない
荒川：設計者がいいというのは説得力がない
第三者機関 避難計画 これで大丈夫でしょうか
「防災評定とっています」という回答
会場：主婦 SDGs市が重んじる 不燃ごみ
ものを大事に
今の城 美しくて実測図と変わらない
大坂城 うらやましい 美しい
姫路城はうすべったい
市民が今の城への思いが語られない
エレベーター24人乗り2台
壊してどこに埋めるのか

いいかどうか聞かれていない
何万人アンケート 操作して木造
道であったおじいさん「もったいない」
市民の思い コロナで生活が苦しい
荒川：「現天守が価値がない」 ことは絶対ない
会場：事業計画 できていない
大阪万博 当初計画よりとんでもなくなっている
505 億 借金で賄う
入場者 事業予算見直してちゃんとしたものを出す
とんでもない赤字をださない？
荒川：505 億 当初の竹中工務店 限度額予算
契約したわけではない 見積
基本計画終わっている 随時契約している
なんか分割している
505 億 竹中「なんとか頑張っていきましょう」
市として適正な予算管理
どう調達するか
今は一般財源 市債発行 借金で賄う
木造 入場料収入で借金を返済する
収支計画 50 年で 1000 億円 返済する
運営費、積立金
森：最近 979 億
荒川：50 年間のもの
森：収支計画
荒川：勘違い
竹中目標 505 億円 建設事業費
森：505 億
荒川：含めて
森：いくらかかって賄えるか
会場：シミュレーションが成り立たないのではないのか
計画通り入場者が入るのか
無理があるのではないのか
計算をそのまま 疑問が残る
荒川：設計終わっていない
工事費積みあがっていない
会場：505 億は余裕がある？
荒川：石垣積みなおし 増えたり減ったり

会場：入場料計算 やり直ししていない？

荒川：やり直ししていない

350万人×1000円 75%を天守に、それ以外を御殿
計算している 収支は成り立っている

森：議会の答弁

会場：見直ししていない

資材、工事値上がりしている

森：979億

荒川：存じ上げない

森：一応予定時間になった

15時40分からフリーディスカッション

荒川：ご意見いただきありがとうございます

皆さんにいろんな意見 計画が煮詰まる
議論することが大事 貴重な意見

森：敵陣に乗り込んだ勇気に拍手

これに懲りずに

15：40

森：意見交換会

基本設計、実施設計、工事

現在は実施設計中と言っている

「基本計画書」できている

要望 文化庁？名古屋市？関係各所

差別発言 身障者団体抗議行動

バリアフリー問題

ステップなごや 9000万円

昇降技術 世界的規模の公募 8000万円

MHI

「史実に忠実」にと「バリアフリー」は両立できない

☆天守に入るのが大変

外エレベーター

今の計画 小天守→大天守 スロープ

◎やめればいい

現在の耐震改修するしかない

会場：バリアフリー化と文化財との兼ね合い あわない

○か×しかない

文化庁の許可が必要

一番大事な天守閣作ってから石垣保存

「あとから基礎工事」聞いたことがない

森：公募した

2020年東京オリンピックまでに間に合わせる

2事業者だけ

清水建設 やりたいが、短期間では無理

石垣をしっかりとしてから建てたい 工期を守れない

慌てることはない 方針だけが残っている

会場：木造で石垣どうするのか

耐震設計

会場：石垣の上に作るものではない

市も本物を作ると言っていない

森：「エレベーターをつける」

全国身障者当事者議員 名古屋市に要望した

・最上階までエレベーター

議会 同意した

減税日本の団長も「最上階まで設置したい 頑張ります」

名古屋市の方針 あくまで最上階まで検討

河村市長「減税の中では言っていない 1-2階で十分 虚偽」

河村市長の意見だけがとんでもない

あるときには河村市長、あるときには常識的

説明を逃がっている

報道もしないのも問題

食い違いをきっちりと説明すれば

「市長の説明を信じるな」

渡辺：根本的に食い違っている

名古屋市は木造を作るしか議論していない

一切議論する場を作っていない

名古屋城整備検討委員会「現天守議論が尽くされていない。もっとするべき」

現天守も含めて議論をする場を作るべき

語っていただいて

市長が言うことがいいのか、耐震改修がいいのか

会場：挙手しないと

減税日本団長、市長とも意見が違う

全体の流れ どういう形になっている？

市民にはわからない

森：エレベーター

日弁連 「最上階までエレベーターをつけて」

バリアフリー法、愛知県条例

県と名古屋市 仲が悪い

市としては最上階まで検討する

会場：市長の意見は通らない？

森：市長の意見押し付けてはいけない

常識的判断をするのが市長

願ってもいないことをいうのはダメ

会場：河村市長が木造化 年月たっている

いろんなところのろし

仕切り直ししてやらないと整理はつかない

会場：木造化は決定 全て決定

市長が何言っても関係がない

役人と議会が承認

森：決定はしていない

木造を軸に

技術検討段階 バリアフリーと史実に忠実 相容れない

やめればいい

大阪万博 たいへんなこと やめればいい

東京都市博はやめた

毛利：議論を尽くされていない

どこ？

渡辺：課題検討報告委員会

毛利：市議会 特別会計を作る

認める前の段階

それは議会 行政ベースとしては決まっている

文化庁 文化財は所有者がいる

それを保護管理団体 城は地方自治体

耐震問題 耐震補強をするのか木造復元 地元で検討して選びなさい

名古屋市 木造でやるといっている 議会は認めている

渡辺：修正しないとイケないのではないか

なんら触ることがなく議会の流れ

毛利：べきだということはそうだが

渡辺：市民が声を上げるべき

毛利：木造化すべき、現天守残すべきという市民

現実的にどうなのか

ジャーナリストとして取材している
この会の目的 登録有形文化財
議論を尽くして盛り上げないと わかる
行政ベース 「報告書がある」事実と違う
会場：文化庁はどういっているのか
森：名古屋市として止まっている
毛利：文化財は所有者がいる
管理団体が保存整備
名古屋城の管理団体は名古屋市
「将来は管理団体が決めてください」
ケーソンとコンクリートがある 石垣は後でできる
森：技術的な話 石垣には載っていない
ケーソンに載っている
そんな工事はきれいなものではない きれいではない
会場：石垣に負担かかるのはなりたたない
毛利：かけない
会場：本来は天守台の上に建物を
会場：河村市長は最初からウソ
会場：市民は本物と思っている
会場：復元しても本物にはならない
混乱している
会場：一部メディア差別の城
きちんとやらずにやると差別の城と認める？
森：検討委員会 1年くらいかかる
河村市長「1-2階でいいだろう」
会場：入場者が入ると思うのか
会場：決めたからやる
見直しはしない
毛利：バリアフリー 文化庁「障害者団体の同意が得られればいい」
認めるか認めないか
森：公共建築
毛利：建築基準法 除外規定 解釈がある
森：今後文化施設 「これはやむを得ない」全国で発生するか
毛利：まさに「差別の城」
障害者団体 認めざるを得ないと同意が得られれば
森：身障者団体 後退は容認しない
毛利：文化庁はどう考えているか

河村市長「できたらないほうがいい」

障害者団体 おかしい ひっこめることはない
基本計画はまとまらない

森：まとまらない

会場：千田先生「バリアフリー 世界水準

名古屋城は当然そうすべき。」

何らかの方法で一番上までつけたい

文化庁 許可を出すのではないか

出来上がるもの ケーソンに載っている、一見木造

耐震耐火 昇降機

それをどう市民が思うか

河村市長でいれば立たない

会場：挙手して

河村 日本保守党党首 衆議院に出る可能性

中日新聞 名古屋城連載

改築問題 さあやるぞ 「改築に向けてムード盛り上げる」

意味が分からない

減税日本 市は財政赤字 増えている

大阪城 エレベーターついている

会場：市の発言 現天守 特別史跡になっている

耐震性の問題 新しく作る例？

森：名古屋城 全体は特別史跡と指定

石垣、堀

鉄筋 範囲に入っていない

毛利：復元されたものを含めて史跡

特別史跡の範囲は決められている

番地洗い出して公示

本物は本質的価値

復元 価値を理解するため

森：文化庁の許可がないと釘一本うてない

記念植樹 盛り土

取り壊そうとするなら、申請しないとだめ

会場：ぶち壊して建て壊す事例はあるのか

森：聞いたことがない

会場：掛川城がやったのでは

毛利：木造天守建てた当時は史跡ではなかった

森：現在の名古屋城 文化的価値がある

大阪城、愛知県庁、名古屋市 登録有形文化財

会場：文化財保護法 河村市長を阻んでいる

先行解体が

毛利：文化財保護法があるから

史跡に指定して、特別史跡

建物の場合 重要文化財 特に重要なら国宝

荒川さん：比喩的な言い方

史跡に国宝はない

建物、絵画 重要文化財

森：金閣寺 燃えて再建

県の文化財になっていない

景観は

先行事例になる

昭和5年国宝指定 市政資料館にある

保存が完全 本物が残っているのが価値

レプリカで残しても

毛利：レプリカはニセモノではない

レプリカとしての価値がある

同じ材料、

復元にもいろんな制度がある

河村市長「文化財になる」 文化庁はそうはならない

復元したものは価値がある

100年 200年 制約の中価値がある 重要文化財になる可能性

森：いい加減

今のものはいい加減 内部構造

木造建築 木組み ちょうなの肌触り

資料がないから

名古屋城 飛騨の匠

非常に複雑な木組み 復元できない

推定で作っている

本物と同じよう 歴史的改ざん

内田：ここ（市政資料館）は建築して100年たっている

重要文化財になっている

2011年 市が耐震診断概要書がある 13.5億円で耐震改修できる

あと40年後には、この建物と同様なものになるだろう

なぜか河村市長が木造をいいたして、今年矛盾が噴出した

しかし、事業が止まっているが止める制度がない

愛知県や国土交通省は5年事業がストップすれば第三者委員会が見直す
名古屋市にはない

市長が意見を変えるか、市長を変えるしかないのではないか

会場：6/3 ごたごた 河村市長いた

責任をとって降りてもらえないか

毛利：河村市長「復元したら本物になる」本物にならない

河村市長がいる限り、木造化はできない

渡辺：ニセモノ

本物ができるのか

「たくさんの資料がある」全部の資料ではない

全部ないと建築物は成り立たない

本物 天守台の石垣と穴蔵

史実は荷重がかかっている

史実であろう

石垣が不安定 熊本城の現在の技術を念頭

史実忠実の木造構造を変えないといけない

「史実忠実」といいながらも、相当のものしかできない

森：毎月月例会を行っている

アンケート

16:38